



水はすなお…

みすゞさんの水には、この世のすべてのものが、ありのままに映るに違いありません。

瞬時に飛んできて、またすぐに飛んで行く鳥や虫、流れゆく雲…みすゞさんの水にはあらゆるものが映し出されます。瞬時に消えていくものであっても映し、映っている一刻を、お互い「嬉しい」と思い思われているのではないのでしょうか…と矢崎節夫さんは言われています。

「一瞬」だとか「時間が長い」「時間が短い」と決めるのは人です。

ギリシャ語では「時間」を表すのはクロノス Chronos とカイロス Kairos という2つの言葉があります。クロノスは刻々と進む時間、カイロスは神の時(その時)です。

それぞれのその時、その時を大切に過ごしていきましょう。

みすゞさんの水に自分を映し出したらどう映るでしょうか。

考えつつ、この年も歩んでいきたいと思えます。

西洋美術館で「モネ～睡蓮のとき」が開催されています。

モネにとって「水」はかせないモチーフで、モネは、水面に映る風景を描くことで、時間と共に移り行く色彩の美しさを表現したかったそうです。



水面に映る睡蓮、アガパンサスやアイリス…
どう描かれたかによって、どこからの視点なのかがわかります。

モネは上から、下から、あらゆる視点でモノを観ています。

視点を都度変えながら、季節から季節、瞬間から瞬間を描いていました。

物事を、さまざまな視点から見ていくことの大切さを伝えてくれ、言葉では言い表せない素晴らしい作品の数々です。